

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	静岡英和学院大学短期大学部
設置者名	学校法人静岡英和学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	短大HP (http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/information/zaimu/)
収支計算書又は損益計算書	短大HP (http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/information/zaimu/)
財産目録	短大HP (http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/information/zaimu/)
事業報告書	短大HP (http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/information/zaimu/)
監事による監査報告(書)	短大HP (http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/information/zaimu/)

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 短大HP http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/information/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 現代コミュニケーション学科 食物学科
教育研究上の目的（公表方法：短大HP http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/passage/ ）
（概要）大学の使命・目的 静岡英和学院大学短期大学部（以下、「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、キリスト教の精神に基づき、豊かな教養と実際に役立つ専門の学術とを授けることを目的とする。（短期大学部学則第 1 条）
卒業の認定に関する方針（公表方法：短大HP http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/3policy/ ）
（概要） ・卒業の認定に関する方針の具体的な内容 学科ごとに学位を授与するために必要な能力・資質を示している。 ・卒業の認定に関する適切な実施状況 課程に定める所定の単位を修得した者のリストから、教務委員会及び教授会にて本学のディプロマ・ポリシーに沿って、卒業を審議している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：短大HP http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/3policy/ ）
（概要） 学科ごとに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる目標を達成するために、基礎教育科目、専門教育科目、その他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講することを示している。また、カリキュラムの体系を示すために、科目間の関連性、履修の順次性、難易度を表現する科目番号システム（全科目に番号を付ける）を用いて、カリキュラムの構造をわかりやすく明示する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：短大HP http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/3policy/ ）
（概要） 学科ごとに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める人材を育成するために、募集する人物に求める要素を公開している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：短大HP <http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
現代コミュニケーション学科	—	3人	3人	1人	人	人	7人
食物学科	—	3人	3人	1人	人	1人	8人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		36人					37人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：短大HP http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/junior_c/contemporary-communication/teacher/ http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/junior_c/food-science/teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
現代コミュニケーション学科	100人	92人	92%	200人	191人	95%	0人	0人
食物学科	80人	51人	63%	160人	113人	70%	0人	0人
合計	180人	143人	79%	360人	304人	84%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
現代コミュニケーション学科	79人 (100%)	6人 (7.6%)	58人 (73.4%)	15人 (19.0%)
食物学科	56人 (100%)	2人 (3.6%)	51人 (91.1%)	3人 (5.4%)
合計	135人 (100%)	8人 (5.9%)	109人 (80.7%)	18人 (13.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) ・授業計画（シラバス）の作成過程</p> <ol style="list-style-type: none"> ①授業担当者がシラバス案を作成 ②授業目的・内容・評価方法等について自己点検し、チェックシートを提出 ③専任教員による第三者チェックを実施し、授業担当者にフィードバック ④授業担当者が修正 <p>・授業計画の作成・公表時期（学内向け3月末 学外向け5月中旬）</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>学習成果は、GPA及びCAP制を導入し、厳格かつ適正に認定している。成績の評価方法や基準を授業計画（シラバス）にて公開し、出欠やレポート、授業態度等の複合的な要素からの総合的な評価を徹底している。また、評価にはGPA制度を導入している。総合的に判断して出した成績（総合点）をもとに、あらかじめ公表している判定基準に照らし合わせ評価している。卒業の認定は学科ごとに学位を授与するために必要な能力・資質を示している。課程に定める所定の単位を修得した者のリストから、教務委員会及び教授会にて本学のディプロマ・ポリシーに沿って、卒業を審議している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	現代コミュニケーション学科	62 単位	有・無	38 単位
	食物学科	62 単位	有・無	46 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：短大HP及び学生向け冊子（キャンパスガイド）</p> <p>http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/life/facilities/</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	現代コミュニケーション学科	620,000 円	280,000 円	202,080 円	施設設備整備費 災害傷害保険料 (入学時)
	食物学科	620,000 円	280,000 円	276,080 円	施設設備整備費 実験実習費 災害傷害保険料 (入学時)
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 現代コミュニケーション学科では、自分にあったユニットを選択することで多くの資格取得が出来るような科目配置を行っている。食物学科では、クラス担任制により、きめ細やかな教育を行っている。また、調理実習時間を多く組み込み実践的スキルの修得を支援している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 業界研究から実践的な就職活動に関することまで、約 40 コマの就職支援講座を開講している。また、進路相談、書類添削、面接指導など個別の指導も充実している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期健康診断による疾病予防と早期発見 ・ 学生生活での不安・悩み、病気・身体についての相談 (随時受付) ・ ケガ等の応急措置 学生相談室・臨床心理士によるカウンセリングを実施 (予約制)

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：短大HP http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/information/20160525-85704/
--